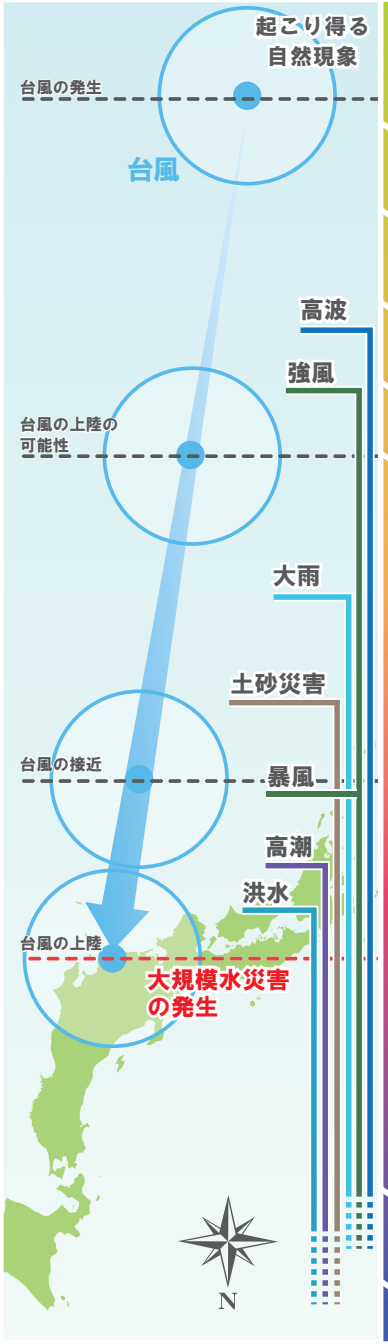
大規模水災害に関するタイムライン（防災行動計画）の流れ



時間	国土交通省		交通サービス	市町村	住民
-120hr	○台風予報	point 災害対応体制を早期構築し、要員・資機材を配備		point 広域避難の可能性を早めに周知	
-96hr		○災害対策本部の設置 ○連絡体制・通信システムの確認 ○リエゾン・TEC-FORCEの体制確認・待機 ○協力機関の体制確認	point 運行停止の可能性を早めに周知	○広域避難の体制確認・調整 ○避難方針の発表	
-72hr	○台風に関する記者会見				○自宅保全 ○防災グッズ準備
-48hr	○台風に関する記者会見	○施設（ダム・水門・排水機場等）の操作確認 ○資機材の調達（災害協力建設業者等）	○交通サービス運行停止予告		point 早期に広域避難を開始
-36hr				○避難所の開設	
-24hr	○台風に関する記者会見（特別警報発表の可能性） ○大雨警報・洪水警報	○船舶等に対する警報等の伝達・周知 ○リエゾンの派遣・TEC-FORCEの出動（被害状況調査の支援） ○緊急避難路の指示・発動 ○交通サービス事業者事前対応計画の発動確認 ○ダム事前放流の指示・確認	○施設浸水防止対策の実施 ○運行停止手順の確認 ○運行停止手順の公表	○広域避難者の誘導・受入 ○リエゾン・TEC-FORCEの受入 ○水防団の待機 ○避難所の運営 ○河川・海岸・道路の巡視	○広域避難開始 ○要配慮者避難開始
-18hr	○土砂災害警戒情報 ○はん濫警戒情報（はん濫警戒水位） ○大雨・暴風・高潮・波浪特別警報	○船舶への避難に関する勧告等 ○入港の制限、停泊中船舶の移動命令等の規制 ○市町村長へ事態逼迫状況の伝達 ○河川・海岸・道路・砂防等の巡視 ○CCTV監視の強化	point 事前の協定に基づき、緊急避難路・運行停止	○避難遅延者の対応準備 ○避難指示・勧告の発表 ○避難遅延者の対応	広域避難に要するリードタイム ○避難開始
-12hr		○TEC-FORCEの活動（排水） ○道路通行規制（強風等による規制）の実施	○排水開始 ○運行停止準備の開始	○水防活動の実施	○広域避難完了
-9hr	○はん濫危険情報（はん濫危険水位）	○TEC-FORCEの出動（被害拡大防止の支援）	○運行停止 ○施設保全・退避終了	point 浸水しても早期復旧・再開が可能なように運行停止、施設の保全・退避	○避難完了
-6hr					point 台風上陸前に避難を完了
-3hr		○施設操作員の危険箇所からの退避	point 救助・物資輸送の早期展開	○警察・消防・消防団（水防団）等の避難支援者の危険個所からの退避	○最終的な危険回避行動
0hr	○はん濫発生情報（はん濫水の予測）	○救助・救急活動の実施	○被害状況の把握・施設点検	○支援の要請	
+3hr		○通信の確保 ○TEC-FORCEの活動（道路啓開） ○JMA-MOTの活動（気象機動調査の実施） ○被害状況の把握・施設等点検の実施 ○調査・点検結果、通行規制状況の公表 ○TEC-FORCEの出動（早期復旧の支援） ○緊急輸送路・輸送船（救助、物資輸送等）の確保 ○交通サービス運行状況の把握・公表 ○被災宅地の危険度判定 ○応急仮設住宅の供給	○運行見通しの公表	point 迅速な災害対応支援の実施	
+12hr			○排水一部終了 ○運行一部再開 ○運行見通しの公表 ○排水全体終了 ○運行全体再開 ○運行状況の公表	○水防活動一部終了 ○避難指示・勧告の継続／一部解除 ○水防活動全体終了	○避難継続／帰宅 ○避難終了
+72hr	○警報の継続 / 解除	○リエゾン・TEC-FORCEの帰還			

※タイムラインに関わる関係機関、防災行動は多岐にわたりますが、本イメージ図は国土交通省の対応や広域避難と交通サービスに着目して整理したものであり、時間軸の設定、対応の実施などにあたっては、今後の検討、調整が必要になります。また、赤字は特に対応強化の必要と考えられる項目です。